

山形発のイタリア野菜で勝負を賭ける！

～企業組合かほくイタリア野菜研究会（山形県）～

若手農家が連携することにより、全国でも珍しい国産イタリア野菜を生産・販売している企業組合かほくイタリア野菜研究会(牧野聡理事長)をご紹介します。



[写真提供：企業組合かほくイタリア野菜研究会]

■ 背景

山形県河北町において、全国的に増加傾向にあるイタリア料理店で国産のイタリア野菜を使いたいというニーズが増えていることに着目し、農商工連携事業の一環として地元商工会が河北町農家に呼びかけ、平成23年に若手農家の有志によりイタリア野菜をつくるプロジェクトがスタートしました。

試験栽培に取り組んだ当初は、イタリア野菜の種子も栽培マニュアルもなく、インターネットの動画サイトでイタリアの生産現場を見たり、イタリア食文化研究家やイタリアンシェフのアドバイスを受けるなど試行錯誤を数年間繰り返しました。地元の行政や金融機関等の協力もあり活動が徐々に広がりを見せるなか、賛同者も増えたことから任意グループを組織し、多くの品種を全員で分担して取扱うことで、栽培技術に関するノウハウを蓄積していきました。

商談会への出展などを通じて国産イタリア野菜の認知度向上を図った結果、バイヤーとの取引も増えたことから、会員農家が栽培した野菜を全量集荷することで安定的な供給体制を確立するために、平成25年4月に企業組合かほくイタリア野菜研究会(牧野聡理事長)が設立されました。

■ 取組内容とその成果

組合の設立により、販売窓口を組合に一本化したことで、会員農家は野菜生産に集中でき、取引先のレストラン等は少量多品種を一括注文できることで仕入の手間を省けるようになりました。また、生産者同士による販売価格競争のリスクがなくなり、会員が栽培する

野菜を統一ブランド「かほくイタリア野菜」で販売することで、高付加価値での販売やブランド力向上の面で効果を発揮していると組合では話しています。

このほか、イタリア野菜の使い方や調理法を広めることで消費拡大に繋げようと、著名シェフを招いた料理人向け調理講習会の開催や野菜農園ツアーによる収穫体験や農園ランチの提供等にも精力的に取り組んでいます。

設立1年目に390万円だった売上高は、現在3,000万円を超えるまで増加し、約60種類のイタリア野菜を都内の有名イタリア料理店や百貨店などを中心に約100店舗へ出荷するまで事業規模を拡大させています。

今年10月には、河北町のアンテナショップが世田谷区三軒茶屋にオープンする予定であり、山形県産イタリア野菜で勝負を賭ける組合の今後の取組に大きな期待が集まります。



[彩り豊かな『かほくイタリア野菜』]

【企業組合かほくイタリア野菜研究会】

- 代表者名 牧野 聡
- 所在地 山形県西村山郡河北町谷地字月山堂654-1
- 設 立 平成25年4月
- 組合員数 16名(平成30年8月現在)